

2018 年度「取締役会実効性評価」の結果（概要）

株式会社不動テトラ

当社は、2018 年度の「取締役会実効性評価」を実施しましたので、その結果（概要）を次の通り開示します。

1. 評価の方法・手順

当社は、取締役会の実効性の分析・評価にあたり、取締役会の開催・運営状況（日時、出席者数、議題、所要時間、発言回数等）及び取締役に対する質問票の回答による自己評価を踏まえ、取締役会議長が評価をとりまとめたうえ、取締役会でレビューを実施しました。

2. 評価結果の概要

取締役会の構成、運営、役割及び合意形成のプロセス並びに取締役の貢献、チームワーク、ステークホルダーとのコミュニケーション、コーポレートガバナンスに関する方針等、前回の評価結果の課題の実践、指名報酬諮問委員会の活動、監査環境の整備などの評価項目について、評価基準に照らし評価した結果、当年度は概ね適切であり、全般的に改善が進んでいると認められるものの、取締役会として、前年度に掲げた一部の課題について引き続き改善が必要であると判断し、次年度以降の課題、改善すべき事項として、後記 3. の通り、共通の認識を形成しました。

3. 次年度以降の課題

取締役会として共通の認識とした次の課題について、次年度以降、以下の通りその改善及び対応を進めてまいります。

① 取締役会における経営リスクに対するコンセンサスの共有と迅速・果断な意思決定に向けた取組の推進

中期経営計画で掲げた有形無形の経営資源への戦略的投資及び収益基盤の多様化を迅速・果断に実行に移すため、取締役会において、適時かつ適切な経営リスクに関する認識・評価・対応方針等の共有と戦略的な方針、投資の審議及びそのモニタリングに継続的に取り組む。

② 株主、投資家との対話の推進

中期経営計画で掲げた ESG を基本とした CSR 経営の推進の基本方針を踏まえ株主、投資家との対話を促進するための体制を強化し、着実に社外への情報発信と株主、投資家とのコミュニケーションの充実にに向けた取り組みを積極的に推進する。

以 上